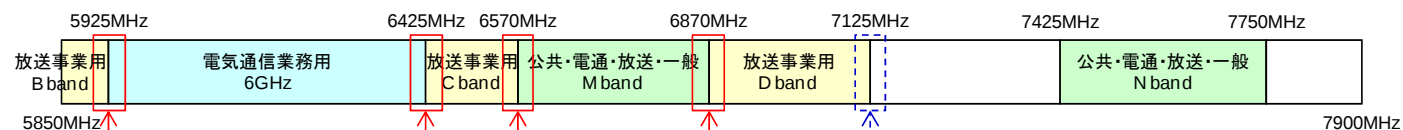


4K・8K用FPUと他システムとの共用検討について(案)に対する考え方

資料FPU作2 - 4

	構成員からのご意見	対応案
1	以下のとおり、修正されたい。 修正前:4K・8K用FPUの空中線電力が、現行のFPUの一部答申(H13.6)と同等以下の場合、 修正後:4K・8K用FPUの空中線電力及びスプリアス発射の強度の許容値又は不要発射の強度の許容値が、現行のFPUの技術基準と同等以下の場合、 4K・8K用FPUの帯域外電力が現行の規定より増えた場合、隣接帯域である電気通信業務用固定局が被干渉側、4K・8K用FPUが与干渉側として共用検討する必要が出てくる。 【NTTドコモ 八木構成員】	ご指摘のとおり、スプリアス発射の強度及び不要発射の強度の許容値についても含めて考慮し、共用検討を進めていく。
2	提案の考え方で問題ないとする。 ただし、検討対象システムについては、7.5GHz帯(N band)とD bandは大きく離れているので、共用条件の検討は不要とする(添付資料参照。) なお、検討は事務局から提案のとおり、FPUが被干渉側となる場合のみで良いとする。 【日本無線 唐澤構成員】	ご指摘のとおり、固定無線(電通、公共、一般業務)との共用については、Dバンドの上側隣接周波数(7125-7900MHz)は検討対象外とする。
3	【既存設備への考慮】 ・受信基地局側の既存設備(1.2mパラボラ受信アンテナクラス)が極力流用(改修の場合にも極力少なく)できるようパラメータを検討するのが望ましい。 【遅延時間】 ・低遅延の伝送を行いたい場合は、時間インターリーブなしのモードが選択できることが望ましい。 【日本テレビ 佐藤構成員】	ご指摘を踏まえ、検討を進めていく。なお、FPUの機能に関しては、規格化の中で取り上げられることが望ましい。

公共/電気通信/一般業務用固定局と放送事業用FPUとの共用条件の検討について



周波数割当てが接している部分について、共用条件の検討が必要。
(公共・電通用固定局 → FPUへの与干渉)

周波数割当て計画では、7125MHzから公共業務用の割当てであるが、
実際に使用されているのは7425-7750MHz(7.5GHz帯/N band)であり、
公共・電通用 N band 固定局 → D band FPUへの与干渉検討は不要と考える。

